

外国語活動の段階的な先行実施

◆小学校3・4年生における外国語活動の先行実施

小学校において、改訂された学習指導要領の平成32年度からの全面実施に向け、平成29年度から小学校第3・4学年においても外国語活動を段階的に先行実施している。

【小学校における外国語活動の実施予定】

	第3・4学年	第5・6学年
平成29年度	年間10～15時間	年間35～40時間
平成30年度	年間15～20時間	年間40～50時間
平成31年度	年間20～30時間	年間50～60時間
平成32年度	年間35時間	外国語科 年間70時間

小中連携外国語活動開発委員会

◆小中連携外国語活動開発委員会の目的

小中が連携した外国語活動の充実を図るとともに、外国語活動の教科化に向けた準備を進め、その成果を全校に発信し、各学校が主体的に取り組めるようにする。

◆平成29年度の取組

- 小学校の教材等（絵本教材、ピクチャーカード等）の活用方法について「話すこと」に特化して開発する。
- 開発した活用方法について、研究授業を通して検証し、「教材活用実践事例集」を作成・市内教員に配布する。

専科教員等による指導の充実

◆英語専科教員の配置（一小）

- 英語専科教員（第3学年～第4学年）が指導する際、学級担任はティームティーチングT2として児童把握等の授業補助を行う。
- 英語専科教員は、外国語活動の授業に携わる学級担任やALT等と授業内容について共通理解が図れるよう、打ち合わせの計画・実施を定期的に行う。

◆英語教育推進リーダーの配置（三小、西砂小、柏小）

- 推進リーダーは、教材開発や準備等への支援、授業展開に関する指導・助言、指導計画作成への指導・助言等を行う。
- 2か月程度の海外派遣研修（オーストラリア2名、アメリカ1名）を実施する。
- 小学校高学年におけるパフォーマンステスト（挨拶や自己紹介等について教員が英語で質問し、児童が英語で回答する）の補助を行う。

主体的・対話的で深い学び・市民科・人権教育の推進

◆主体的・対話的で深い学び

- 平成29年度より、各教科等において、改訂版「立川スタンダード20〈基本的指導過程〉」に基づく授業を展開している。

◆立川のまちの特色を生かした市民科の展開（立川市外国人数3,823人）

- 多文化共生を推進する市民団体や留学生との交流を通して、異文化理解を深めるとともに日本の伝統・文化のよさを見つめ直している。

◆人権教育：障害者と健常者の「共生」について考え、話し合う。

〈目的〉「外国語やその背景にある文化の多様性を尊重するとともに、互いの考えや気持ちを伝え合うなど対話を行うことができる」、コミュニケーション能力を育成する。

文化芸術による教育・東京オリンピック・パラリンピック教育

◆文化芸術による子供の育成事業

- 演劇の手法を使ったワークショップを実施し、コミュニケーション能力を育成している。

◆東京オリンピック・パラリンピック教育「世界ともだちプロジェクト」

- 「世界には多くの国があり、その国の様々な人種や言語、文化、歴史などを学ぶことを通して、世界の多様性を知り、様々な価値観を尊重すること」の重要性について学んでいる。

研究指定校による授業実践

◆教育力向上推進モデル校の指定

- 平成29年度より、若葉小学校をモデル校に指定（3年間）し、外国語に親しみをもち、主体的に人と関わろうとする児童の育成を目指して研究に取り組んでいる。

（目指す児童像）Let's Try!（自分から積極的に活動できる子）Let's Smile!（相手の目を見て、笑顔で関わろうとする子）Let's Enjoy!（外国と日本との文化の違いを知り、異文化への興味・関心をもてる子）

◆持続可能な社会づくりに向けた教育推進校の指定

- 課題発見・解決していくための能力や態度を育成していく。

中学校教員の海外派遣

◆英語を母国語または母語とする国への教員派遣

- 大学等の高等教育機関が運営する英語教授法に係る研修を受講し、最新の教授法を修得するとともに、派遣先の国の文化の理解を深め、教員の指導力を向上させるとともに、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。

◆派遣教員の人数と派遣先

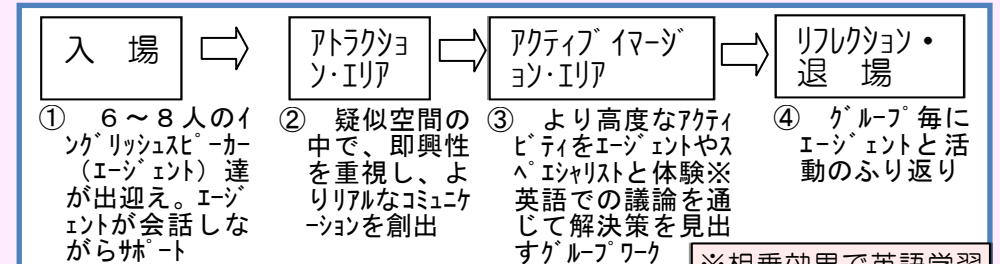
平成29年度	2名	（三・九中：オーストラリア、ニュージーランド）
平成28年度	2名	（三・五中：オーストラリア、ニュージーランド）
平成27年度	1名	（二中：オーストラリア）

東京都教育委員会の取組「TGG」

※参考

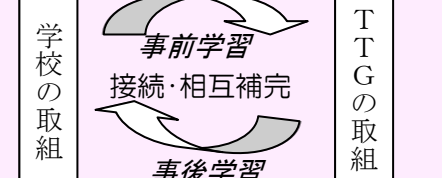
◇TGG「TOKYO GLOBAL GATEWAY（英語村）」について

- 体験型英語学習施設で、平成30年9月に江東区青海に開業予定
- オールイングリッシュの環境で、英語を使った様々な体験を通して、子どもたちが自身の英語力を「力試し」する。
- 子どもたちが英語を使う体験を通して、「グローバルに生きる自分を発見」することをねらいとしている。



◆TGGの今後の予定

平成29年9月 予約受付開始予定
平成30年7月頃 プレオープン予定
平成30年9月 開業予定
→ 平成40年度末まで営業予定



教員研修の充実

◆授業力アップ研修

- 優れた指導力をもつ教員により外国語活動・英語科における研究授業を実施する。（平成29年10月実施予定）

◆夏季研修

- 夏季研修において東京都立立川国際中等教育学校と連携し、外国語活動や外国語科の内容に特化した研修会を実施している。
- 初任者研修において、平成29年度より、コミュニケーション能力向上のためのワークショップ研修を実施する。

きめ細かな指導の充実のための体制

◆ALTの全校配置

- 平成28年度は、小学校第5・6学年、中学校にALTを派遣していた（年間35日）が、平成29年度は、小学校第3学年からの派遣に拡大した。

◆中学校英語科教員の小学校派遣

- 中学校区ごとに、中学校英語科教員が校区の小学校の外国語活動の時間にT2として指導を行う。（年間10回）